

## 六 違った顔、違った個性



クラスの友だち  
(違った顔、違った個性)

「きみたちのクラスの友だちを見たまえ。だれひとりとして全く同じ人はいない。太ったものもいれば、やせたものもいる。背の高いもの、低いもの、からだの強いもの、弱いもの。意志の強いものもいれば、だらしないものもある。おどけた人や内気な人。勉強の好きな人、嫌いな人。ひとりて本を読んだり、機械をいじったりすることに熱中しているものがあるかと思うと、みんなで野球をやることばかり考えているものもある。みんな違った顔つき、違った性質、違った趣味、違った才能。」

今日からすれば、「だらしないもの」とか「勉強の」「嫌いなもの」などという言葉を無前提に使用しているのが気になるが、却って教科書らしくなく新鮮である。

ここには、新しい社会を迎えて、個人の尊厳と個性の尊重が新鮮なタッチで描かれている。この教科書の構成は

〈筑波大学教授〉

「第一章 個性はどのようにして作られ発展するものだろうか」「第二章 個人はどのようにして社会生活に適應することが出来るか」「第三章 個人はなぜ尊重されなければならないか」「第四章 きみたちはどのようにして共同生活のために活動することが出来るか」となっている。この構成の中に、当時の時代的制約の中で、いかに個人の尊厳を実現しようとしたかその意気込みを感じ取ることが出来る。日本の「民主主義」は遅ればせながらこのようにスタートした経緯があり、文字の解釈程度で云々されるほど脆弱なものではない。

以上、五点に絞って初期の文部省著作教科書を紹介してきた。当時の「社会科」を論じるには、これ程おもしろい文献はない。いずれまとめてみたい。

これは中学校最後の教科書に当たる『個人と集団生活』（通し番号18）の冒頭にある写真である。当時の中学校は義務教育の最後の段階で、卒業してそのまま就職する子どもも少なくなかった。この写真はそれにふさわしいものになっている。

## 子どもの社会観形成とオモテ文化とウラ文化

馬居 政幸

一 いまどきの若者は

- (a) 「グループばかりだなー？」
- (b) 「今の世の中、一人でやる勇気があるやつなんていない！」
- (c) 「……へー……！」
- (d) 「ホー、親はグループサウンズ、子どもはロックグループか！」

これは、六月初旬、BSの音楽情報番組を巡ってのわが家の会話。(a)は紹介される日本のベストテンのほとんどがグループで歌うのに気づいた私のつぶやき。それに間髪いれず応じた長男の言葉が(b)。その語気の強さと論理？の明快さに驚いて（わが子の成長に感動する母親の思いを込めて……と私は

思ったが）発した言葉が(c)。長男に何となく先を越された気分も重なって、訳知り顔で解説を試みようとした私の屈折した気分がまざった言葉が(d)。対話はこれで終わったが、その数日後の朝、長男の言葉が私の中に残っていたためか、朝日新聞「天声人語」の次の書き出しに目が止まった。

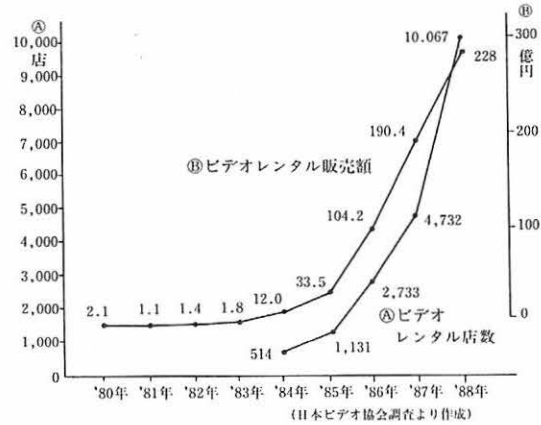
「いまの二〇歳前後の若者たちの行動を形容するのに『囲い込み』という言葉が使われているのに出くわした。『自分のまわりに囲いをつくる。仲間にしても、本当に気の合った者だけをボックスのように囲い込む』という（六月二四日）。博報堂生活総合研究所

による団塊ジュニア（一九歳から二二歳）の意識と行動に関する調査結果を用いての現代若者論。また、『囲い込み』に加えて、次の五つがこの世代の特徴として紹介されている。

『自然体』（無理しない、がまんしない、対立しない、気にしない）、『よいこ』（かつてのなまいきな若者とはちがう）、『低温』（さめていて現実的）『無性化』（男女の区分を気にせず）『摩擦回避世代』（常識、自分の心、人との関係について無意識に摩擦を避けようとする）。

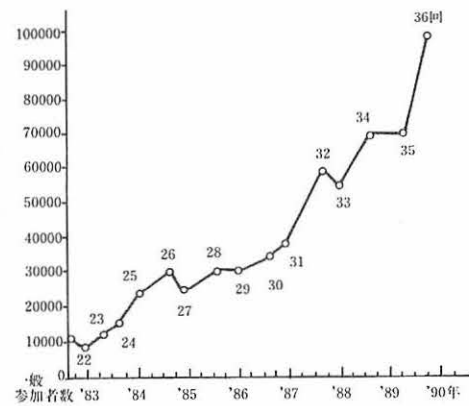
この特徴と先の長男の言葉から、私は次の三つのデータを思い出した。

①「ビデオレンタル店数とビデオレンタル販売額」



①「ビデオレンタル店数とビデオレンタル販売額」と②「コミックマーケット参加者数の推移」はともに八〇年代中頃から急激に右上がり。③「高等学校と大学・短大進学率の変化」は

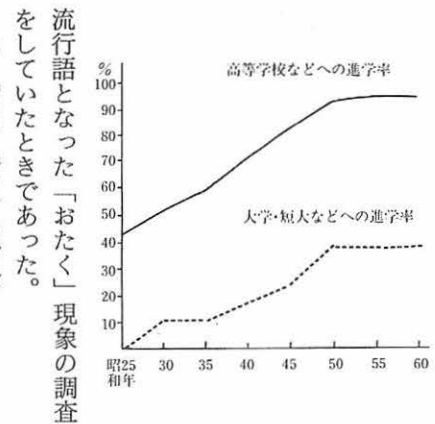
②「コミックマーケット参加者数の推移」



①「進学率」が横ばい状態になった頃に、①「ビデオ」と②「コミックマーケット」が急激に上昇していったわけである。三者の関係は？

この三グラフに興味をもったのは一九九〇年、養女連続殺人事件によって

③「高等学校と大学・短大進学率の変化」



「個室文化」勉強部屋？、これが①のグラフをみての直観、さらにそれは③のグラフで確信に変わった。

まず、レンタルビデオ店の拡大。これはアダルトビデオ(略してAV)が若者に支持されたことが要因。AVは非常にパーソナルな文化、誰にも邪魔されずに一人で見ることその本来

の機能？を發揮するメディア。ということは、他者から閉ざされた空間とビデオテレビの個人化が前提条件。これまで茶の間の文化の中心にあったテレビが、AV(これはオーディオ・ビジュアルの略)機器となって、ヤングアダルトのパーソナルな世界の演出ツールに進化？したわけである。

「コミックマーケット」(略してコミケ)も同様の条件が必要。この時期(八〇年代)のコミケとは、年一回、東京の晴海国際貿易センターに全国のマンガマニアが自分の作品(同人誌)を持ち寄る世界。女性八〇%、男性二〇%と女性が多く、「やおい族」に象徴されるように女性が描く性的に過激な作品も少なくない。AV店と同様にコミケもパーソナルな作業と閉ざされた空間がなければ成立しない世界である。なぜこのパーソナルな時空が可能になったか。私の結論は、勉強部屋の普及。根拠は③のグラフ。八〇年代以

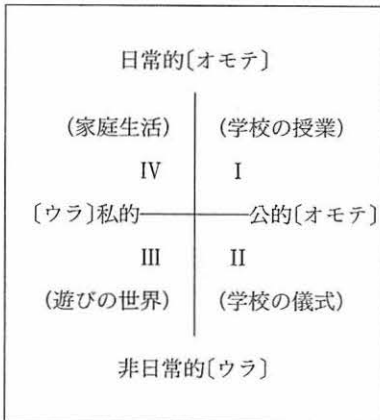
後、高校は九割以上、大学は四割前後の進学率。さらに現在は専門学校等を含め、七割前後が高校卒業後も進学する時代。この進学率の上昇は、勉強部屋という名の個室が全国の家庭に普及する過程でもあったはず。

さらに、このことは日本に生まれた子どもの多くが二〇才過ぎまで学校という世界の中で生きる(なければならぬ)ことであり、一人の社会人として自立するための基盤となる、思春期から青年期にかけてのアイデンティティ形成が学校を核に行われることを意味する。他方、アイデンティティ形成とは、自己と自己を取り巻く社会の認識すなわち社会観とが一体になった自己認識(同一性)の形成のこと。

したがって、八〇年代に①②のグラフを右に押し上げた若者とは、社会観形成の場が学校中心になった最初の世代、グラフ上昇後の八〇年代末に思春期を迎えたのが団塊ジュニアというこ

とになる。その意味で、この学校中心第一世代の社会観、あるいは先に紹介した団塊ジュニアの特性はオモテとウラいづれの文化の影響か。

三 学校はオモテかウラか



この図は社会生活を「公-私」「日常-非日常」という二つの軸で分類したものの。子どもの場合、「I」は「学校の授業」、「IV」は「家庭生活」、「II」は「学校の儀式」、「III」は「遊びの世界」となる。もちろん、「I」

が遊びの子もいれば、成長の度合いによっても異なる。また、「遊び」が「III」であるためには、親や教師の目から離れた子どもたち自身の世界であることが前提条件となる。

この分類を「オモテ文化」と「ウラ文化」という観点からみると、原理的には四つの世界それぞれ「オモテウラ関係」があるはず。だが相互の関係では、「公」に対して「私」が、「日常」に対して「非日常」が「ウラ」に位置づけられよう。それゆえ、「公的世界の文化」に対しては「私的世界の文化」の方が、また「私的世界」でも「日常的」よりは「非日常的」の方が「ウラ文化」度？が高いと言える。

ところで、学校は「I」と「II」の世界が中心。「III」と「IV」は学校の外の世界の問題。子どもの世界が学校中心になるとは、「I」と「II」が増えて「III」と「IV」が減少すること。オモテとウラの関係からみれば、学校

という「オモテ文化」が「家庭生活」や「遊びの世界」の「ウラ文化」に進出（侵略？）していくことである。

また、アダルトビデオやコミックをオモテ文化とみる人はいないはず。逆に進学はオモテ文化の代表であろう。とすれば、先のグラフの「③進学率」がピーク・横ばい期に「②AV店」と「③コミケ」が急上昇とは、子どもの社会生活が「学校のオモテ文化」に覆られた時に「ウラ文化」が興隆し始めたということになる。なぜか。

#### 四 勉強部屋のパラドックス

アイデンティティ形成にとって重要なのは、男あるいは女であるということ。アダルトな世界への関心である。だが、学校のオモテ文化には、健全で平等な男女の文化はあっても、アダルトな性の文化<sup>4</sup>はない。

学校が教えられるのは性交、射精、受精、受胎などの性に関する科学的知識のみ。生物としての性差（セック

ス）と社会的性差（ジェンダー）の隘路をかき分けて、男の子が男になり女の子が女になるノウハウ、たとえば恋人を獲得するための話術や化粧術やセックスの方法を教えられない。

これらは「家庭生活」や「遊びの世界」において、しかも「オモテ」ではなく「ウラ」の文化として蓄積されてきたもの。だが、八〇年代以後これらを学校のオモテ文化は侵略し続けた。祭り、ゲーセン、スーパー、全てに健全育成の目が光り、自販機から一般書店まで、アダルトなウラの文化を追放した。そして各家庭に勉強部屋というオモテの文化の植民地を築いた。

だが、子ども達の方も負けてはいない。学校が期待するほど健全でも純粹でもなく、健康な男と女である。すなわち、思春期のあがきの過程で子どもではなく大人の男と女の世界を生きようとする者が見出したのが、勉強部屋を自由な遊び空間に読みかえること。

その中にいるかぎり、自己とその世界を自由に表現するアクターに変身できることに気づいたからである。

勉強部屋は学校文化すなわちオモテ文化が家庭生活に浸透した結果生まれた世界。それがアダルトビデオや過激なコミック描写という新たなウラ文化興隆の場を保証したわけである。オモテ文化の侵略が現代ウラ文化再生産保護区を生み出すパラドックス、これが三グラフの隠れた因果連関である。

#### 五 閉ざされたウラから世界へ

もつとも、部屋の外は学校のオモテ文化が輝く場。部屋の中も本来学校文化の植民地。そこで生まれたウラ文化も学校文化の光から逃れられない。

改めて天声人語を紹介する若者の特性を見直してほしい。『自然体』『よいこ』『無性化』『低温』『摩擦回避世代』、いずれも学校の秀才に要求されるパーソナリティのはず。また「コミケ」の作品のモデルは圧倒的に少年ジ

ヤンプのキャラクターだが、そのジャンプのコンセプトである「友情・努力・勝利」は学校教育の理念。ウラとオモテはまさに表裏一体となる。

その意味で、内側に「困い込み」を求める団塊ジュニアの特徴は、外の変化より内側の秩序を優先する学校文化の完成品。特に現実社会から読み取る意欲と努力を忘れ、教科書の現実を教える技術に執心してきた社会科はその責任を最も問われるべきと考える。

ただし、学校がどうであれ時代とともに生きるのが子どもたち。彼ら彼女らは、もう一つのパラドックスの世界に生きている。それは内側への困い込みが、かえって世界と結びつくパラドックス。マルチメディアのパーソナルリアリティと一体化し、十数インチのディスプレイに世界をリアルタイムで結ぶ力もまた団塊ジュニアの個性。

団塊の世代は外に自己を表出することとアイデンティティを獲得した。そ

のジュニアは内に向かって自己を同一化する世界を描きだす。長男の「一人でやる勇気がない」とは団塊ジュニアの一人としての自己省察のはず。一見リアルでアクティブと思えた親の団塊は保守の繁栄の中に散逸し、その虚飾の中で自己を形成したジュニアの内に向かうエネルギーは、メディアを介して世界とネットワークする。内と外、両者がシンクロして新たな時代と社会を創造できるかどうか。そのキーは、多彩なスーフアミソフトやアダルトCD-ROMが示唆するように、オモテではなくウラ文化のエネルギーにあることを忘れないでおきたい。

☆この「おたく」の考察が拙著「なぜ子どもは『少年ジャンプ』が好きなのか」に結晶。一読を願う。  
☆グラフの出版①「ビデオレンタル店数とビデオレンタル販売額」（小浜逸郎「AVギヤル▼サベテのセックスが商品になったとき、もつともリアルで正直な『性』、AVが生まれた」、『別冊宝島』一〇〇 80年代の正体！）②「コミックマーケット参加者数の推移」（米沢嘉博「コミケ」、『世界最大のマンガの祭典』、『別冊宝島』一〇四 おたくの本）  
（静岡大学教育学部助教授）

# 特集 社会を見る物差し—21世紀どうなるか

▼500字アンケート 戦後日本の社会観を表すキーワードは—と聞かれたら……  
 安藤 豊 / 石井和正 / 糸井 清 / 河南 一 / 栗波昭文 / 小林宏己 / 渡瀬文隆 / 森脇健夫  
 ▼21世紀の社会像 私のシミュレーションはこうなる—20世紀と比べて考える—  
 安藤雅次 岩田一彦 大津和子 大野運太郎 二杉孝司

新しい物差しを自分の力で作成を  
 数量を見る目……  
 パラダイムの再考と現実直視の精神性……  
 自由の復権……  
 消費者の行動や意識の変化を……  
 中絶理論と比較分析的概念の採用……  
 国民生活の豊かさをを見る物差し……  
 ●21世紀の社会観を形成する視点  
 新しい学力観の育成……  
 知に制御された豊かな感情の相互表出を……  
 自ら問題設定と解決が出来る学力……  
 創造人とマクロスコア……  
 この国に自由主義と民主主義を実現するために……  
 地球時代に生きる市民形成—そのキーワードは、異質との共生である……  
 「民族の時代」に共生する社会観を……  
 生命、人権、そして地球……

日本史の中で考える…社会観の「コベル」的転換点とは  
 —「時代性・先見の明・歴史の裁断」をどう考えさせるか—  
 国際化・多価値社会の中の日本史学習  
 「政治家」から「われら国民」へ……  
 歴史における「出会いと発見」……  
 日本史上にみる社会観の転換点—文明開化—  
 戦争学習と民衆への「共感」……  
 ホスト稲作文化社会へ……  
 異文化との接触の視点から……  
 子ども創造性の発見……  
 大化の改新で公地公民制が成立したのか……  
 世界史の中で考える…社会観の「コベル」的転換点とは  
 —「時代性・先見の明・歴史の裁断」をどう考えさせるか—  
 紙幣の変遷に着目しての戦後史学習……  
 世界史の中のラス・カサス……  
 最近の若者の社会観と時事問題より……  
 破局の道を進む人類史・世界史……  
 機械時計の出現が社会観を変えた……  
 社会科と東・東南アジアの台頭……  
 転換点をとらえる視点……

社会観を巡る「不易と流行」—図表で読む戦後社会科教育史—  
 子どもの社会観形成とオモテ文化とウラ文化  
 谷川 彰英 八  
 馬居 政幸 七  
 小特集 価値的知識を扱う授業の理論と方法—の紹介  
 峰 明秀 六  
 加藤幸次 今谷順重 小西正雄 小原友行 岩田一彦 九  
 加藤幸次 今谷順重 小西正雄 小原友行 岩田一彦 九  
 加藤幸次 今谷順重 小西正雄 小原友行 岩田一彦 九

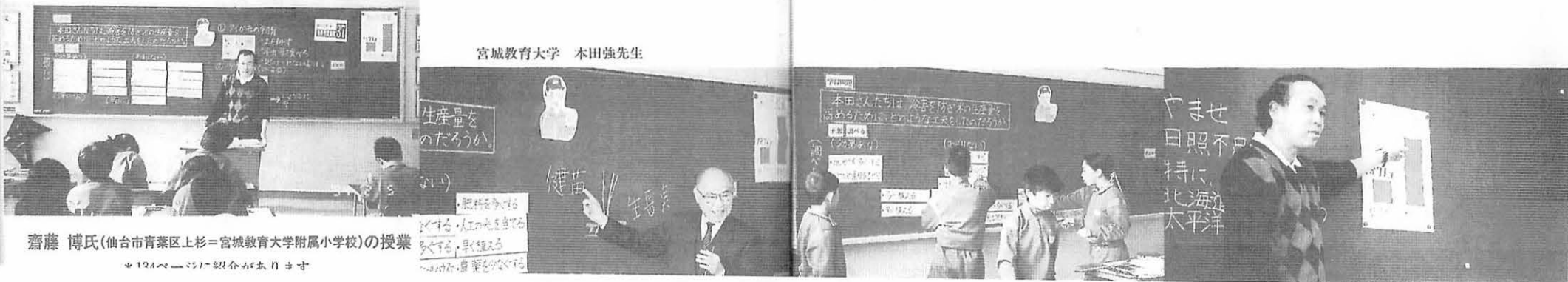
▼授業に乗せるとしたらこれだ！  
 加藤幸次 今谷順重 小西正雄 小原友行 岩田一彦 九  
 加藤幸次 今谷順重 小西正雄 小原友行 岩田一彦 九  
 加藤幸次 今谷順重 小西正雄 小原友行 岩田一彦 九

▼方法としての社会的世界の構成—社会科授業を再考するために  
 池野 範男 六  
 \*「近現代史」の授業をどう改造するか—教科書記述の問題点の分析を通して—  
 藤岡 信勝 二五  
 二つの「近現代史」像② 大東亜戦争肯定史観(下)……  
 「誌上シンポジウム」社会科の指導法・どこを変えるとよくなるか 18  
 提言…生きて働く「知識・理解」とは……  
 意見…子ども自らが獲得する「知識・理解」……  
 わたしの教材開発物語 ⑥  
 『石垣いちご』と「高知のいちご」づくりが線になる…… 有田 和正 二〇  
 ※わが教室の「社会科研究最前線」 ⑥ 福島大学の巻…… 白井 嘉一 二一  
 ※わが県の情報・ここに「この授業あり」 ⑥ 宮城県の巻…… 齋藤 博 二二

●研究会案内 鹿児島大学社会科教育学会(一) / 大阪教育大学三附属小(一) / 愛知教育大学附属岡崎中(一) / 大阪教育大学附属平野小・習志野市谷津小(三) / 北浦原郡中条小(四) / 静岡市安東小(四) / 成城学園初等学校(六)

■新製品・モノ・グッズ情報 新工夫の地球儀…… 安達 拓一 二四  
 表紙絵 / 升本 猛 / 扉・エピソードとクイズで、身上調査「歴史人物42人・面白ミニ事典」勝又明幸 /  
 グラビア / 社会科授業に使えるフォトクイズ / 八木 哲 / 表3・4 歴史授業に役立つ「モノ・科学」 /  
 西尾 一 / 表3下段 今月の教材単元一覽 / 目次写真 / 齋藤 博

宮城教育大学 本田強先生  
 斎藤 博氏(仙台市青葉区上杉=宮城教育大学附属小学校)の授業  
 \*124ページに紹介があります



# 社会科教育 9

1994年9月1日発行(毎月1回1日発行)31巻11号 昭和41年10月7日第三種郵便物認可

## 社会を見る物差し—21世紀どうなるか

- ▶戦後日本の社会観を表すキーワードは—と聞かれたら—安藤豊・石井和生他
  - ▶21世紀の社会像—私のシミュレートはこうなる—安藤輝次・岩田一彦・大塚和幸他
  - ▶“社会を見る物差し”とは—何を、どこを尺度にすると見えてくるか—西川博他
  - ▶小特集 価値的知識を扱う授業の理論と方法—の紹介—峰明秀他
- 連載講座 池野範男・藤岡信勝・北俊夫・有田和正・白井嘉一・齋藤博他



教育科学 社会科教育

1994

9

社会を見る物差し—21世紀どうなるか

明治図書

3395

教育科学/社会科教育 9月号

1994年9月1日発行(毎月1回1日発行)31巻11号  
昭和41年10月7日第三種郵便物認可

## 歴史授業に役立つ“モノ・科学” No.6

西尾 一 (愛知県知多郡東浦町=緒川小学校)

### 鹿苑寺金閣

金閣の奇抜さは、金箔をはってあることだけではありません。建築物としての奇抜さを検討してみると、義満の思いが見えてきます。



#### 金閣の建築様式

金閣=建築史上でもめずらしい、奇抜なアイデアの建築物。

さまざまな建築様式が混在している。

- 三層…中国風の禅宗(唐様)造:社寺風
- 二層…鎌倉時代の武家造:武家風
- 一層…藤原時代の寝殿造:公家風



「公家・武家・社寺の三者の上に立って支配したい」という義満の願いの象徴

### 1 2000軒分の建築費用

「億ション」や芸能人の豪邸などがワイドショーのネタとなりますが、金閣はそんな程度ではありません。

- 二・三層に純金箔をはった。
  - 建築費用は、当時100万貫=現在のお金に換算すると、約600億円という高額となる。  
(3000万円のマンション・建売住宅の2000戸分に相当)
- ・日明貿易(勘合貿易)で大きな利益をあげる  
(輸入生糸は原価の20倍の高値で売れた。)
  - ・守護大名に、金閣建築費用を割り当てる。

(表3につづく)

定価 590円

(本体 573円)

発行所=明治図書出版株式会社  
東京都豊島区南大塚2-39-5  
郵便番号170  
振替00160-5-151318

Printed in Japan

